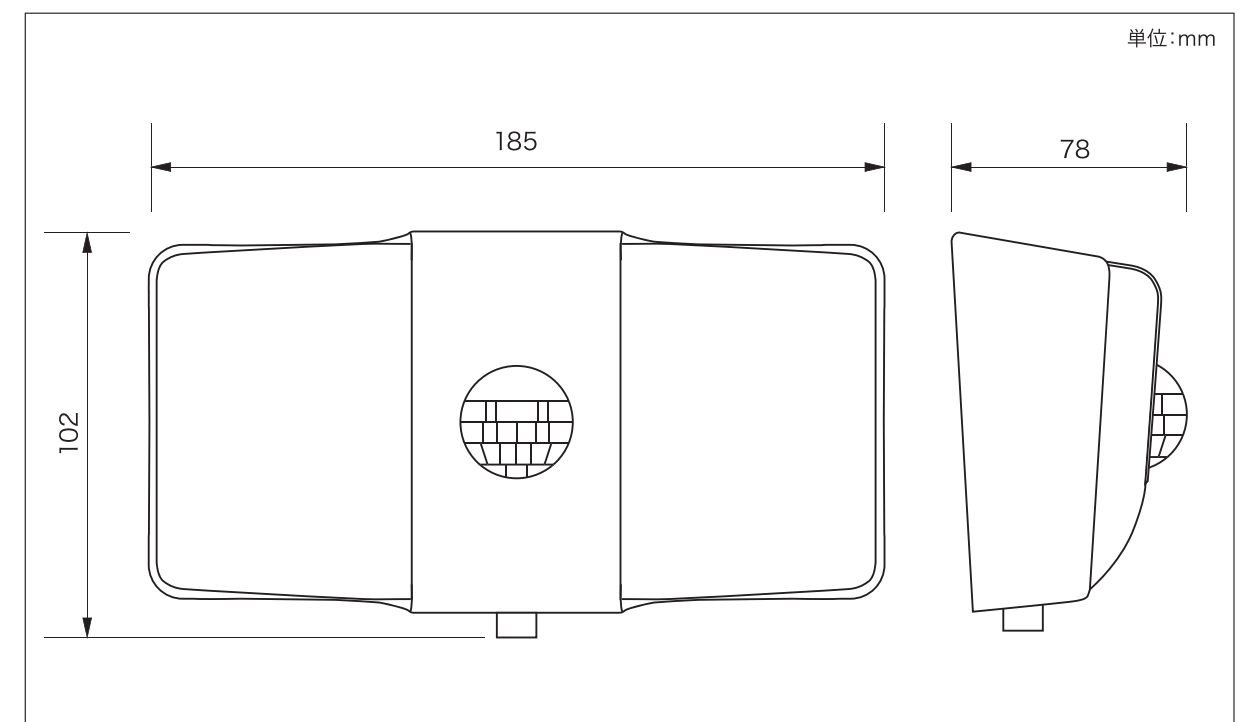


9仕様

名 称	LEDセンサーウォールライト 乾電池式
検 知 方 式	赤外線受動式
使 用 電 源	単3形アルカリ乾電池3本 ※別売
電 池 寿 命	約4ヶ月 (新品アルカリ乾電池使用、1日5回点灯時) ※乾電池の性能、使用条件により大幅に変わる場合があります。
光 源	白色LED (06-4211)、電球色LED (06-4212) 全光束 約160ルーメン
点灯保持時間	約10秒
水 に 対 する 保 護 等 級	IPX4 (JIS CO920:2003による) IPX4は「あらゆる方向からの水の飛まつに対する保護等級」
使用周囲温度範囲	-5℃～+45℃
質 量	約320g(電池を除く)
外 形 寸 法	幅185 x 高さ102 x 奥行78 mm
付 属 品	コンクリート用スリーブ2本、ネジ2本

2019/05

10外形寸法図(本体)



OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は **修理ご相談センターへ**
電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

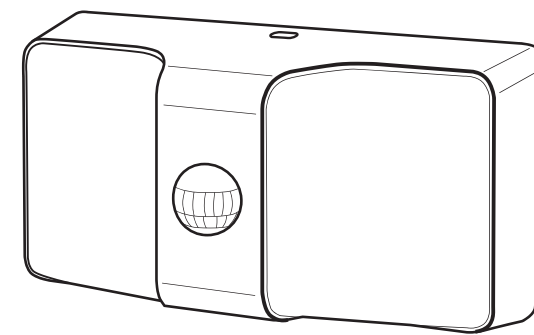
製品に関するお問い合わせは **お客様相談室 へ**
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

OHM ELECTRIC INC.

monban
LED 乾電池式
センサーウォールライト

取扱説明書

もくじ	ページ
1.安全に関するご注意	2
2.各部の説明	3
3.電池の入れ方	3
4.取り付ける場所について	4
5.本体取り付け方法	4~5
6.センサーの動作テスト	6
7.センサーの調整	6
8.故障かなと思ったら	7
9.仕様	8
10.外形寸法図.....	8



LS-BH22J4-K

(品番: 06-4211)

LS-BH22J4-T

(品番: 06-4212)

お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにお読みください。

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

図記号の説明

**警告**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

表示の説明

は、してはいけない「禁止」内容です。

は、必ず実行していただく内容です。

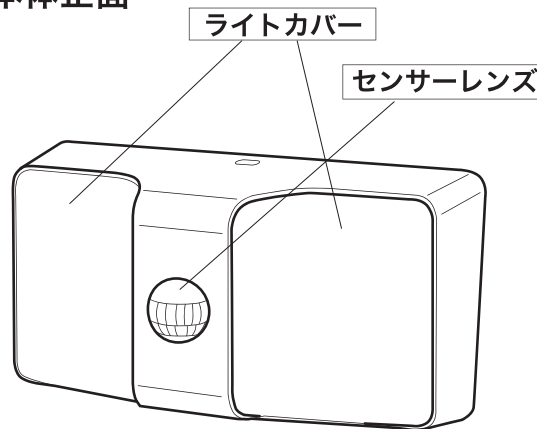
 警告			
 守る	●本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、 確実にこなってください。	 濡れ手禁止	●乾電池を交換する際は濡れた手で本体に 触れないでください。 また本体が濡れている場合も触れないで ください。
	●本体は水平に取り付けてください。 斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が 出来ないことがあります。 また雨水が入り故障の原因となります。	 禁止	●点灯中のライトを直視しないでください。 視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。 ●布や紙など燃えやすい物の近くに取り付け ないでください。 火災の原因になります。
 禁止	●本体を大量の水がかかる場所に設置しな いでください。通常の雨や風には耐えま すが、防水タイプではありません。	 分解禁止	●分解・改造はお止めください。

 **注意**

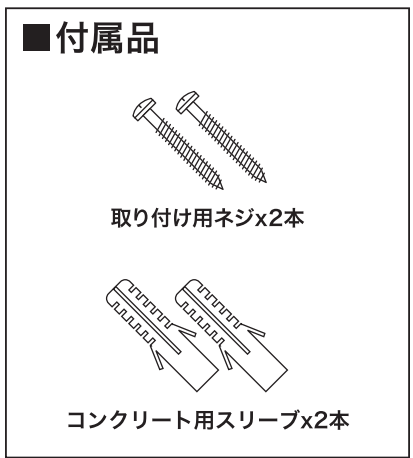
- 本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。
- 電池残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は電池交換をおこなってください。
- 電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。
 - ・電池は⊕⊖方向を正しく入れてください。
 - ・古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・長期間使用にならない場合は電池を取り外してください。
 - ・電池は充電しないでください。
 - ・電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。
- 落下・故障の原因になりますので必ず付属品または市販の結束バンドを正しく使用してください。
- 本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。
- ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが、商品の特性上ご了承ください。
- LEDの交換はできません。
- 仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。

2 各部の説明

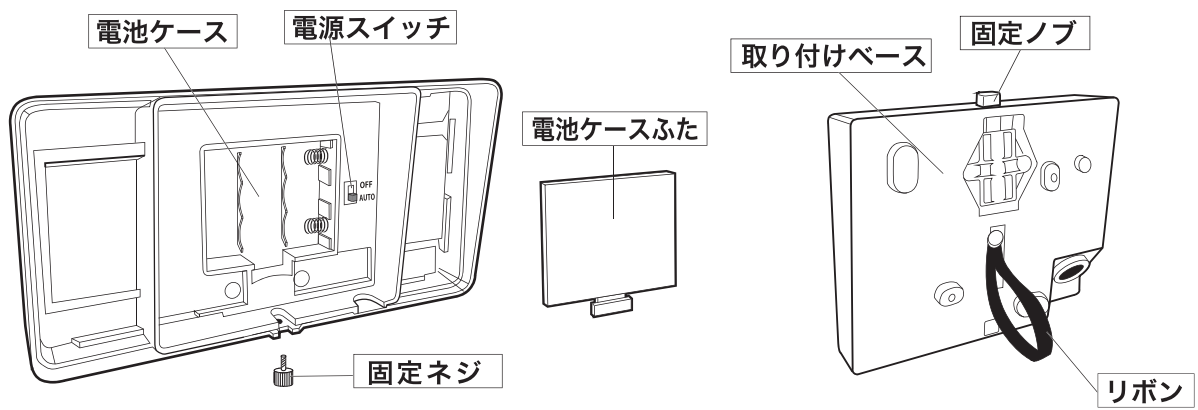
■本体正面



■付属品



■本体背面

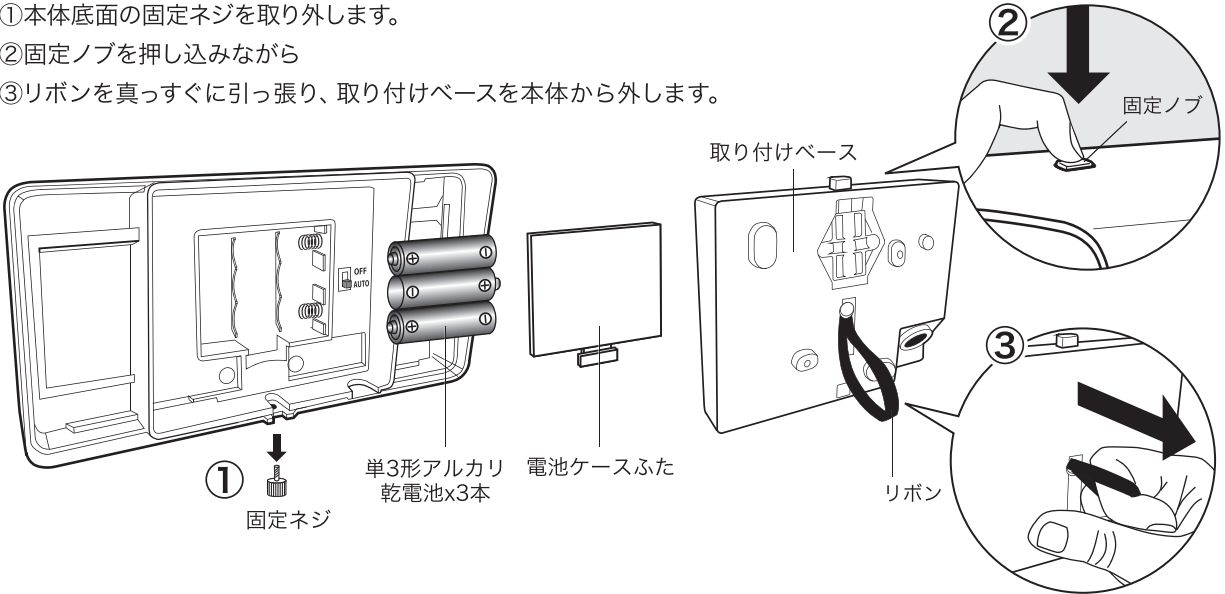


3 電池の入れ方

①本体底面の固定ネジを取り外します。

②固定ノブを押し込みながら

③リボンを真っすぐに引っ張り、取り付けベースを本体から外します。



③電池ケースふたを取り、電池ケース内の ⊕⊖ 表示を確認して、単3形アルカリ乾電池を3本セットします。

④逆の手順で元通りに戻します。

4 取り付ける場所について

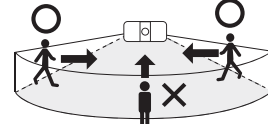
本製品を安定した場所に設置します。



注意
本体を傾けて取り付けないでください。
検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因になります。

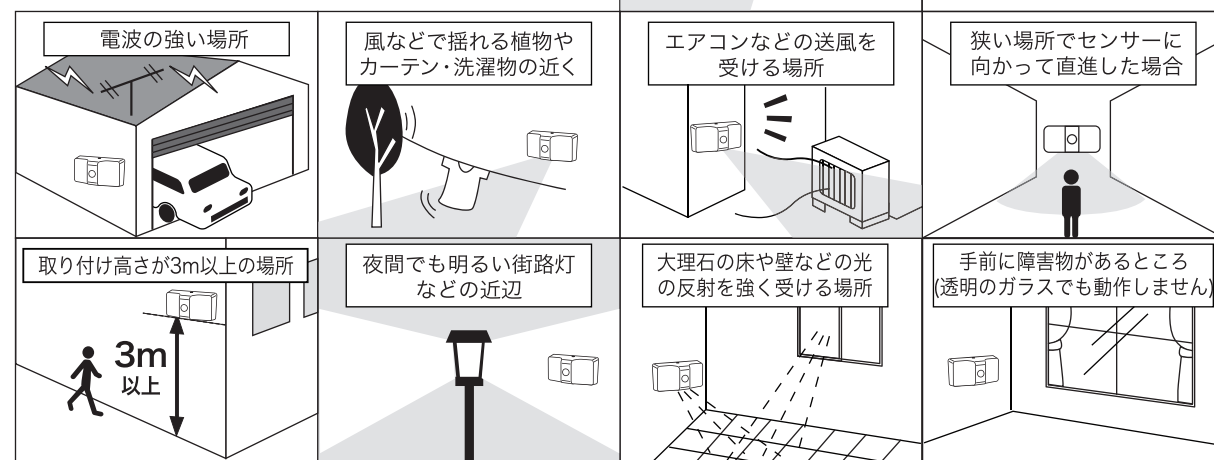


注意
本体に対して人が横切のような場所に取り付けてください。
本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。



⚠ 取り付け注意

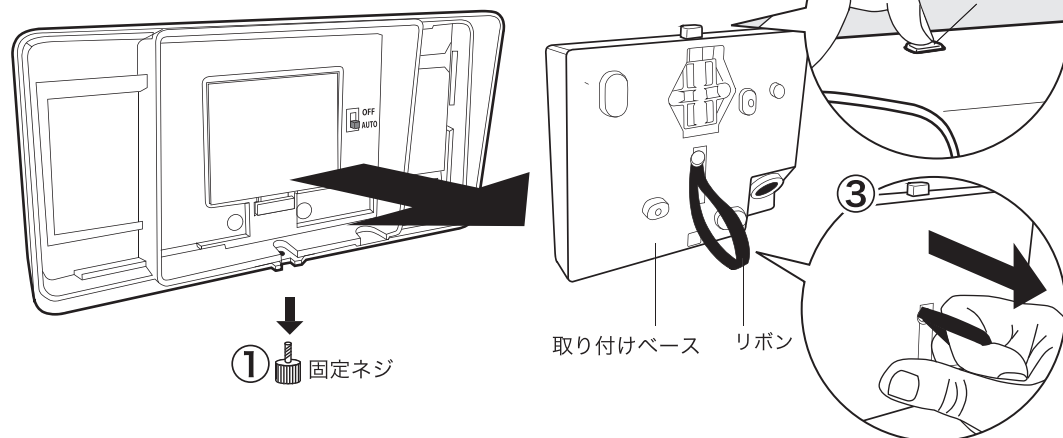
センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。
以下の場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります



5 本体取り付け方法 ⚠ ●万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

① 取り付けベースを本体から外します。

- ① 本体底面の固定ネジを取り外します。
- ② 固定ノブを押し込みながら
- ③ リボンを真すぐに引っ張り、取り付けベースを本体から外します。

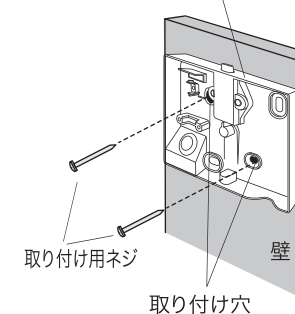


② 取り付け方法を選択します。

※取り付けベースの取り付け穴にネジを挿入する際、錐など先のとがったもので事前に穴をあけておくと、ネジを挿入しやすくなります。

(a) ネジで取り付け

- ① で本体から外した取り付けベース



- ① で本体から外した取り付けベースを付属の取り付け用ネジを使用して地面に対して垂直な壁に図のように固定します。

・図のように取り付け用ネジ2本を対角に取り付け、取り付けベースを固定します。

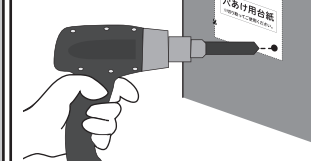
※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

※取り付けベースの取り付け穴にネジを挿入する際、錐など先のとがったもので事前に穴をあけておくと、ネジを挿入しやすくなります。

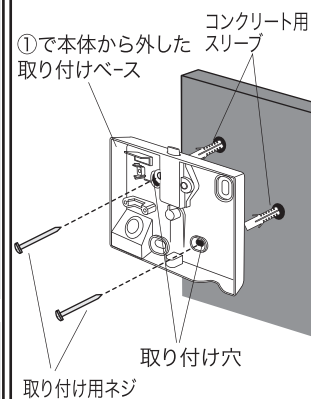
(b) コンクリート壁への取り付け

※穴あけ用の型紙をご利用ください。(化粧箱の内側天面に記載)

直径6mm
深さ30mm
の穴を開ける



- 先にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。
- そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込みます。



- ① で本体から外した取り付けベースを付属の取り付け用ネジを使用して地面に対して垂直な壁に固定します。

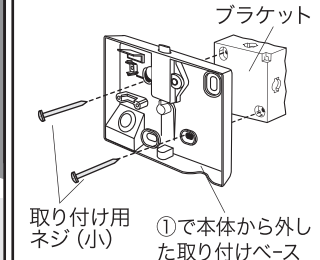
- 図のように取り付け用ネジ2本を対角に取り付け、取り付けベースを固定します。

※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

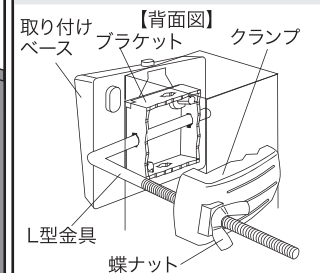
(c) 別売クランプセットで柱などに挟んで取り付け

別売クランプセット
(弊社型番:05E-SCS1D)
商品番号:07-8285

別売クランプセットのブラケット・取り付け用ネジ(小)・クランプ・L型金具・蝶ナットを使用します。

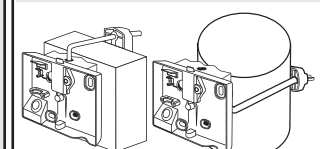


- ブラケットに取り付けベースを取り付け用ネジ(小)2本を対角に取り付け装着します。



柱の厚さは最小約30mm、最大約120mmまで取り付け可能
● ブラケットの通し穴にL型金具を差込み、90°回転させ抜けないようにします。

- クランプをL型金具に通し、蝶ナットで締め付けます。

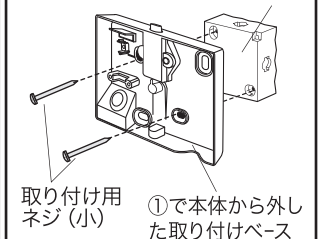


※柱や壁の形状・材質によってはクランプの固定が困難な場合があります。
※別売ブラケットと取り付けベースを固定する際、両者の位置がずれないようにご注意ください。

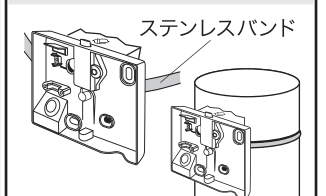
(d) 市販のステンレスバンドによる取り付け

別売クランプセット
(弊社型番:05E-SCS1D)
商品番号:07-8285

別売クランプセットのブラケット・取り付け用ネジ(小)を使用します。



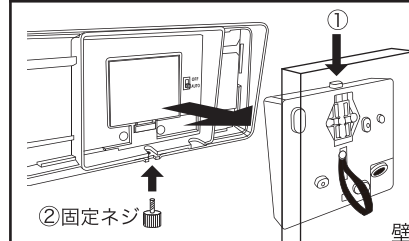
- ブラケットに取り付けベースを取り付け用ネジ(小)2本を対角に取り付け装着します。



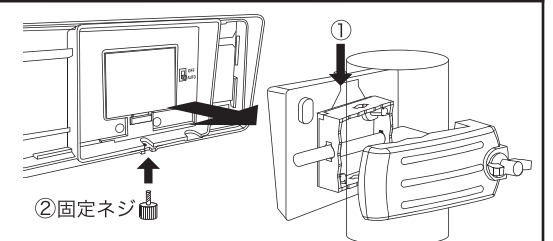
- ブラケットの通し穴にステンレスバンドを通し、角柱・円柱に巻きつけます。
- ステンレスバンドのつまみを回して締めていきます。

※市販のステンレスバンド幅10mmまで使用できます。
※市販のステンレスバンドを使用する際は、本機の破損や落下などの事故の保証はありません。
※ステンレスバンドを使用する柱には傷が付く場合があります。
※円柱に取り付けの場合、縦の円柱には取り付けできませんが横の円柱には取り付け可能です。
※本体の重みで回転してしまう可能性があります。
※別売ブラケットと取り付けベースを固定する際、両者の位置がずれないようにご注意ください。

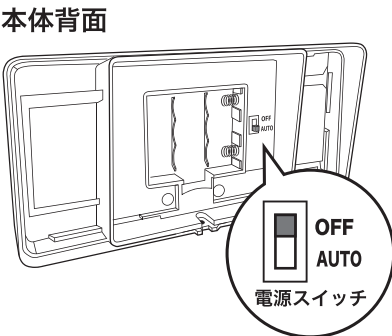
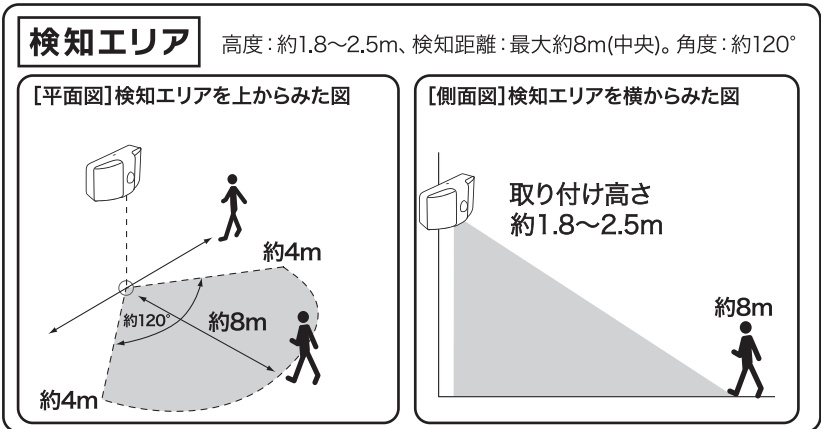
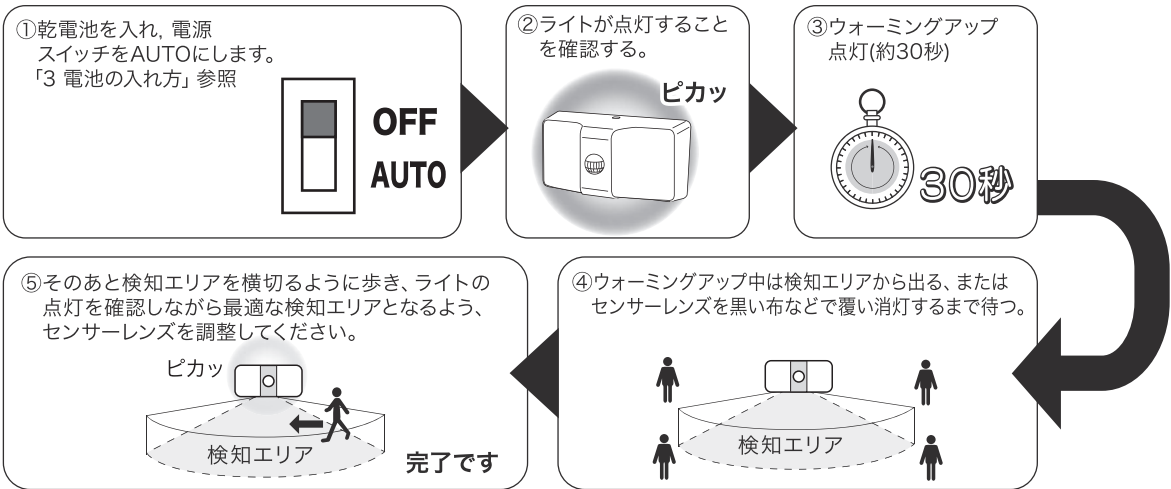
③ 壁・柱などに取付けた取り付けベースに本体を装着します。本体の取り付けは完了です。



- ① 取り付けベースの固定ノブを押し込みながら本体を取り付けベースにはめ込みます。
- ② 本体裏面の固定ネジを取り付けます。



6 センサーの動作テスト



！ 検知エリアに関するご注意

- 検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき探知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。

7 センサーの調整

● 周囲が暗い時
人を検知してライトが約10秒点灯します。

ピカッ

● 周囲が明るい時
人を検知してもライトは点灯しません。

検知距離を狭くするには....

- 検知距離を狭める場合はセンサーレンズに白色のビニールテープを貼付します。
- 上側に貼付すると検知エリアが短くなります。
- 左右に貼付すると検知角度が狭くなります。

8 故障かなと思ったら

現 象	考えられる原因	処 置
ライトが点灯しない	・乾電池が入っていない。または乾電池の接続方向が間違っている	乾電池の⊕⊖を正しくセットしてください。
	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい乾電池に交換してください。
	・周囲が明るい	ライトは点灯しません。
	・検知エリアの設定が適切でない ・センサー部に向かって直進している ・センサーレンズが汚れている	取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。 「5 センサーの動作テスト」 「6 センサーの調整」をご参照ください。
	・センサーレンズに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りのときに人がマフラーや傘などで覆われている ・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・検知エリアが遮られている	センサーの前に壁やガラスがあると検知できません。 取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。
ライトが点灯したまま消灯しない	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口 ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト ・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している	誤動作源を取り除くか 取り付け位置を変更、及び 検知エリアの調整をやり直してください。
点灯回数が少なくなった	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい乾電池に交換してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

